

黒岩祐治

明日を語るふ

1999 10/29 ~

西村議員「核武装論」
報道のあり方

目次

西村議員の発言について	3
政治ホットライン	4
成熟	5
提案	6
「梶原しげるの本気でドンドン」の数値について	6
先入観	7
Re <<	7
ニュース中のコメントのあり方については	8
はじめまして	8
お返事ありがとうございます。	9
Re 「梶原しげるの本気でドンドン」の数値について	10
貴重なご意見、ありがとうございます。	11
功罪	12
Re 功罪	14
論点再構成	16

西村議員の発言について

投稿日 1999年10月29日(金)01時22分

投稿者 吉岡 [kasm1DS12.iba.mesh.ad.jp] 削除

西村議員の「核武装議論」発言に対する各報道機関の拒否反応はものすごい物がありますね。どれを見ても、品格に欠ける、下品、人格に問題がある、と言うような、西村氏の人間性を攻撃する物ばかりでした。

ニュースステーションの轡田という人は、「言論の自由を越えている。サリンをまいたオウムと同じ」とまで言っていました。

個人的には、自分達の意にそぐわない意見、理解を超えた意見を、徹底的に抹殺しようとする報道機関の体質の方に恐ろしいものを感じました。

この問題が発生した翌日、営業車の中で文化放送の「梶原しげるの本気でDONDON」というラジオ番組を聞きました。この番組は、その時々話題になっているニュースを取り上げ、調査・検証していく番組なのですが、この西村発言問題を早速取り上げ、番組内で聴視者アンケートを行いました。

その結果は、西村議員が言うように議論すべきという意見が約80件で、議論すべき問題でないという意見が約40件というマスコミ論調とは全く相反するものでした。

先の国会でも一連の法案を次々通した小淵内閣をマスコミは徹底的に批判しましたが、支持率は上がる一方でした。最近はこの様に国民と報道機関、ジャーナリストたちの間に相当な意識、認識のずれが生じている様に感じます。報道にかかわる人達はこの事に付いて真剣に考える時期に来たのではないのでしょうか。

政治ホットライン

投稿日 1999年10月31日(日)23時52分

投稿者 吉岡 [kasm1DS46.iba.mesh.ad.jp]

いつもは9:55から始まる中田率いるペルージャの試合がなかなか始まらないので調べて見たら、今日は10:55からスタートですって。それまで何を見ようかとチャンネルを回していたら、国会TV(スカイパーフェクTV)で**政治ホットライン**という番組をやっていました。この番組は**政治家と視聴者**が直接電話で**対話**する番組なんです。が、「**核武装議論**」発言の西村議員が出演していました。

私が見始めてから6~7人の視聴者と電話で意見交換しましたが、**20才代**から**70才代**の男女全員が西村議員を**擁護・激励**していました。逆に、今回の件での西村議員に対する**マスコミ報道**への批判、国防・危機管理に対する他の**国会議員の認識不足**への**不満**、**憲法9条堅持**に対する疑問、現在の**歴史教育**に対する批判等が噴出していました。

前回の書きこみでも書きましたが、**報道機関**と**一般市民**の意識のずれを、まざまざと見せられました。司会の人も意外だった(批判の嵐だと予想していた様子でした)ようで、わざわざ「この電話は質問者を選別している訳ではなく、電話がかかって来た**順番に通しているんですが・・・**」とコメントを加えていたのが笑えました。

西村議員は視聴者の意見・質問に対して非常に丁寧に、自分の考えを答えていました。その内容を聞きましたが、個人的には非常に感銘を受けました。何かと言うとセクハラや女性蔑視に結びつける女性議員達とはレベルも視点も比べ物にならないと感じました。これほど真剣に国のことを考えている**国会議員がマスコミによって抹殺されない事を望みます**。

現在、残り時間4分で1-0でペルージャリード。(1点は中田のアシストです)その後ロスタイム7分と判明。ペルージャの運命やいかに。

成熟

投稿日 1999年11月1日(月)00時06分

投稿者 SLT [ce550.farm.gol.net]

こんばんは。

吉岡さんのご意見拝見しました。

確かに、報道機関の出す世論調査と真実との乖離現象は存在すると思います。

しかし、その事が一番重要ではないと思います。実際には、世の中に流れる情報の100%が作られた情報、操作された情報なのです。

ただし、吉岡さんがご指摘になった意図的なものだけではありません。本人達が意図しなくても情報は操作されます。例えば、インタビューを編集することだって、作り方によれば情報操作なのです。

あるいは、子供のときやった「伝言ゲーム」のようなことだって、実際には起きているでしょう。

あるいは、吉岡さんが取り上げた「梶原しげきの本気でDONDON」の数字だってそうです。このラジオ番組を知っている人は殆どいないでしょうし、また、ここに投稿する人は、梶原しげきという人が好きな人が殆どでしょう。当然、梶原さんの主張等にそった数字が出てくる事は予想されなければならない。こういったことは、新聞の読者世論調査と同じ現象ですね。

また、受け取り方で情報が操作される場合もあるでしょうテレビの1場面で、ある人は事件が公平に報道されていると思う人もいれば、不公平だと思う人もいる。全くの主観を排して物事を眺められるほど、人間は賢明ではないのでしょうか。

ですが、真実に近づくこと出来るのではないのでしょうか。私は、情報を測ることでそれが可能だと考えます。

例えば、

- ・主張している人の立場。
- ・過去の行動
- ・取り上げた情報
- ・その「事件」までの距離
(例えば、殺人事件の被害者の父親なら、かなり距離は近いとか・・・)
- ・主張の基礎的事実 論理展開
- ・結論の妥当性
- ・主張者の声のトーン、姿勢などです。

おそらく、吉岡さんもこれくらいはやっていらっしゃると思いますが、私は結局全ての情報を測る目を見る側が養う以上の最善の解決策は見当たりません。

報道機関に真実を迫るよう努力を要求することはもちろん意義のあることですが、見る側の流されない努力もこれからは大事になってくると考えます。

吉岡さんは十分ご理解されていると思いますが、一応これからの掲示板の議論の展開を考えたうえの補足という意味で一筆した次第です。

吉岡さんはじめ、皆様のご意見お待ちしております。それでは、失礼します。

提案

投稿日 1999年11月1日(月)00時18分

投稿者 SLT [ce550.farm.gol.net]

西村発言問題につき、いろいろな政治関係の掲示板を偵察してきました。

ご存知の方もいらっしゃるでしょうが、それはもう「戦場」と化しています。とにかく、はしたない言葉の応酬でこれはどっちが勝利しようが、こいつらには、「核のボタン」を預けない方がいいな、と思いました。戦争と平和の両極端を視野に入れて考える安全保障において、感情論ほど愚かな言葉の応酬はないものです。汚い言葉を平気で吐く人間に1億人以上の人間の運命を任せられるわけないでしょ。

さて、この掲示板で西村発言をはじめとする安全保障の問題について討論が予想されますが、一つ提案があります。

まず、論点を整理しませんか。

とにかく、激しい応酬が予想される問題なので共通の理解の土俵を整備した上でゴングを鳴らすのが賢明と考えます。

皆様のご意見お待ちしております。

「梶原しげるの本気でドンドン」の数値について

投稿日 1999年11月2日(火)07時47分

投稿者 k [a027131.ap.plala.or.jp]

番組当初から梶原氏は、議論の提案は非難されることではないと繰り返し言っていた。その中での数値は当然偏りが出る。

信用出来る数値とは、信用ある機関による無作為抽出調査しかない。投票的調査は信用できるものではない。

先入観

投稿日 1999年11月2日(火)11時35分

投稿者 山尾 [proxy1.nucba.ac.jp]

はじめまして、山尾というものです。山口の萩市で農家をやっております。
ここは、喫茶店で、設置されたパソコンからネットしております。

以前から、日本のマスコミにはかなり落胆していました。そこで黒岩さんにお訪ねしたいことがあるのですが、あなたは**何故ニュースの事実について余計な黒岩さん独断のイメージを取り付けるのですか？**

確かに事実を解説するだけの教養を国民は持っていません。しかし、あなたのその一言が、事実についての唯一与えられたイメージとして視聴者にとりいれられた場合、非常に危険ではありませんか。

日本の国民は「**情報選別**」の教育を受けていない方が多いですから。政務次官がプレイボーイで、国家的発言をしてしまうのはそこ証拠だと思います。

「核武装」が唯一日本の軍事に対するイメージとなった場合、とても危険なことになるのです。あなたは、それと匹敵するだけの影響力を持っているのだと、私は思います。なのにあなたは、悠然とどこかのチープなコラムニストのように事実に油を塗りたくり事実が掴みにくくなってしまいう事態を招いている。

私のこの発言は、多少飛躍させている部分があると思いますが、真実だと思っています。もし、良ければ黒岩さんの意見が知りたいです。

Re <<

投稿日 1999年11月3日(水)14時26分

投稿者 黒岩祐治 [ppp9022.po.ijnet.or.jp]

私はニュースに「**余計な独断のイメージを付ける**」というようなことはやっていません。

私自身の意見を申し上げたことはありますが、私の考え方であることを明確にした上で述べたものであり、事実と混同するようなことはないように心がけていますし、ましてや事実をねじ曲げて報道したことはありません。

ところで先日のパネルトークの放送日ですが、まだ未定のようです。

ニュース中のコメントのあり方については

投稿日 1999年11月3日(水)16時03分

投稿者 k [a061170.ap.plala.or.jp]

<http://www.kuroiwa.com/bbs.log/>

ここのbbs10.html以降を読んでおくと良い。

ところで、山尾氏の投稿が喫茶店からac.jpのproxyを通してしている理由が不明である。

はじめまして

投稿日 1999年11月3日(水)16時24分

投稿者 テールニュース [d008066.ap.plala.or.jp]

はじめまして、スーパーニュースは第一回放送から欠かさず見させていただいています。関西では(前半30分のローカルニュースは仕方ないにしても)後半の35分間も放送していないので、凄くフラストレーションがたまっています。

その上に今度の火曜特番も、30分短縮されているようで、凄くガッカリです。こうやって短縮される放送は以前は土日の昼間などに、完全版が再放送していたのですが、最近はあまりやらなくなって、先日のめざましスペシャルも完全版も再放送してくれるのでしょうか.....。

放送局への再放送嘆願というのは、どういう形であれば有効なものなのでしょうか？
フジテレビの報道姿勢には、「自社スクープ」などを強調しすぎるところに若干の嫌悪感があるのですが(もうほとんどサッカーの不敗神話と同じノリですよね)キャスターの方の多くには好感を持っていますので(とくに八木さん、私11歳のころからファンです)また記者の方もわかりやすく、伝えやすい方が多いなと思っていますので、是非ともこれからも良い放送をよろしくお願いします。

すみません、マジメなところで柔らかい話しになって.....。でももし良ければまた書きこみさせてください。よろしくお願いします。

日本の核武装の是非はともかくとして、そういう論議がタブーになるのは、一部の方が恐れる、警察権力の強化とか、言論報道の自由が侵されるのと同じぐらい危険なことではないでしょうか？

それでは最初から長文失礼します。

お返事ありがとうございます。

投稿日 1999年11月3日(水)22時08分

投稿者 吉岡 [kasm1DS15.iba.mesh.ad.jp]

S L Tさん、お返事ありがとうございます。

私個人は、**報道機関と一般市民の意識のズレ**は非常に重要と考えています。S L Tさんがおっしゃる通り、報道機関の**情報操作**に対してそれを冷静に受け止め、流されない様にするのが、我々一般市民にとって一番必要なことだと思います。その意味では、私が言っている報道機関と一般市民の意識のズレと言うのは非常によい傾向だと思っています。

では**何が問題**だと思うかというと、この国の報道機関のほとんどが、その様なズレを全く考慮せず、(今回の件では認識も想像も出来ていないから考慮出来ないのは当たり前ですけど)**自分達の主張・報道姿勢が100%正しい**と思い込んでいるという所です。**安全保障**や**危機管理**についての国民の意識変化を全く察知できていない。北朝鮮の不審船、核疑惑、テポドン問題やインド、パキスタンの核兵器保持問題、冷戦終了後の民族対立等を連日ニュースで見ているれば、意識も変わりますよ。変わっていないのはそれらの情報を発信している張本人である報道機関だけでは無いでしょうか。

私が書いた、梶原しげるの**本気でDONDON**や**政治ホットライン**の結果というのは、そういう変化に気付いて欲しいという国民の、報道機関に対するメッセージだと思うんです。「**あんたらと違う意見がここにあるよ**」という声だと思うんです。実際は西村発言に関しては支持するという意見は少数意見だと思います。少数意見であるにもかかわらず、この様な結果が出たという意味を批判キャンペーンをはった報道機関・ジャーナリスト達に考えて欲しいと思います。

最後に、今回の西村発言をヒステリックに批判した報道機関のほとんどは、普段は言論の自由や少数意見のくみ取りを声高に叫んでいるのではないのでしょうか？それが今回の件を見れば、所詮は自分達の主張に合った物だけを選んでいているという事は明白ですよね。

Re 「梶原しげるの本気でドンドン」の数値について

投稿日 1999年11月3日(水)23時55分

投稿者 吉岡 [kasm1DS07.iba.mesh.ad.jp]

kさんがおっしゃる通り、梶原氏は議論する事については、別に良いのでは？という立場でした。(普通に考えれば全く当たり前の事だと思いますが・・・)
しかし、強姦発言に関しては、批判していましたし、コメントータの遠藤誠弁護士も批判的(人格に対する誹謗中傷も言っていました。)でした。その他にコメントしたのは、

- ・ **原爆被害者団体の方** (怒りもあらわに徹底批判)
- ・ **辻本清美議員** (言うまでもなく徹底批判)
- ・ **井尻千男** (一応支持)

という感じでした。他は覚えていませんが、番組全体を見ればやはり批判的な意見が多かったと思います。

無作為抽出調査が**信用**できるといいますが、これにも**問題**がある場合が多いように思います。以前、**小淵内閣の支持率**について、支持理由の中で一番多いのが、小淵首相の人柄だと言う事について、私が情報操作していると言う事を書いた所、ある方から、わざわざ人柄が支持理由の一番になっている調査結果を見せられた(この掲示板の過去ログにリンクがありますから良かったら見てください)ことがありました。その方から、**支持理由**で**人柄**より**政策**の方が上位の調査結果があったら教えて欲しいと言うことを皮肉たっぷりに言われたんです。私は読売新聞を購読しているのですが、そう言われた当日の読売新聞に小淵内閣の支持率調査結果が出ていました。その時の**支持理由**のトップは「**一応実績を上げた**」と言う物でした。その他の支持理由の中に小淵首相の人柄という物はありませんでした。

同じ小淵内閣の支持率調査なのになぜこの様な全く違う結果になるかという、この調査方法だと、調査する人・団体が一般の方々に聞く内容を何項目か決めておいて、その中から選ばせるという方法を取るからなんです。ですから、反日報道機関などは、一般的に自民党が中心の内閣の支持率が上がる事は面白くないわけですから、内閣を支持する理由に「人柄」や「何となく」という日本人が突然質問されてついつい選んでしまうような項目を入れておいて、「支持率は高いが、それを鵜呑みには出来ない。支持理由の一番は人柄(何となく)であって政策に満足している訳では無い・・・」と言うような批判が出来るようになっているんです。

(私の独断ですケド・・・)ですから、この調査方法の結果に関しても、一歩引いて見る事も必要だと考えています。

貴重なご意見、ありがとうございます。

投稿日 1999年11月4日(木)12時15分

投稿者 山尾 [proxy1.nucba.ac.jp]

こんにちわ、仮面をかぶっている山尾です。正体は既に露呈しているようなので見苦しい弁明は致しません。逆にとります。

京都の二条城の隣の「なか卯」という親子丼がうまい店でバイトをしております、山尾です。

黒岩祐治さん、私の無礼なたわごと、貴重な時間を割いていただきまことにありがとうございます。何故、黒岩さんがコメントをなさるのか、その理由が明快になりました。黒岩さんが、野の言論者であることを、もっと考慮すべきでした。しかし、吉岡氏の「[報道機関と一般市民の意識のズレ](#)」に関連があるのかもしれませんが、それについては私の中で鮮明ではありません。

黒岩さん、ありがとうございました。時間が許さないので、今日はこのへんで失礼致します。

功罪

投稿日 1999年11月5日(金)23時37分

投稿者 SLT [ce550.farm.gol.net] 削除

こんばんは。

吉岡さんのご意見拝見させていただきました。吉岡さんの主張を要約しますと、以下の2点に絞られると考えました。

報道機関の調査・主張と国民の意識・世論が乖離しているにもかかわらず、報道機関が全く考慮していない。

報道機関の調査は、自分達の主張に沿う結果だけしか取り上げていない。
(以下の要約に異議がある場合は、指摘していただけましたら幸いです)

私の率直な感想は、果たしてそう言いきれるか?というところです。確かに、上記2点のような現象は実在するといっているでしょう。

報道各機関の世論調査は、数字にかなり開きがありますし、自分達の調査結果を踏まえた上での主張となると、失礼を承知で言えば、「手前味噌」的なところがないとは言いません。

しかし、これらの弊害があるにもかかわらず、私は、上記2点の現象が悪いことづくめだとは思いません。

の点については、少数意見をくみ上げる機能・大衆迎合的な報道を抑止する機能を見出すことが出来るからです。報道機関も「商売」でやっている中、受けの悪いことを承知で主張するわけですから、この点、積極的な意義を見出すことも不可能ではありません。

の点については、これは意見を述べるときに属性的についてくるものではないでしょうか。吉岡さんも私も、自己の主張の際自分に有利な事実を挙げた上で意見を展開させているのです。報道機関だって、同じ事をしているわけでこのことが本質的に悪いことなのではないと思います。報道機関は、性質上あらゆる情報を集約するところなので、その主張に沿った範囲で自己に有利な情報にもっぱらの集約の力点を置くことも許されることでしょう。問題は、もっと別のところにあるような気がします。

ところで、西村発言についての報道各社の姿勢についてですが、

西村氏の発言が、安全保障の基本的方針にかかわる問題であり、何より世論の多数意見が尊重されることが必要なこと。

一国会議員としての発言ならともかく、非核三原則の堅持を掲げる小淵政権内部者としての発言であり、このまま座視すれば、閣内不一致とも取られかねないような発言だったこと。

以上の2点から、少数意見より多数意見を尊重した報道各社の姿勢を矛盾だとは思いません。(なお、今の意見はあくまで、報道各社の姿勢について論じたものであり、核武装論議の当否に立ち入ったものではありません)

また、小渕政権への支持率調査に「人柄」という項目を加えた点については、小渕首相は普段から自己の人柄の良さを政治的パフォーマンスとして利用してきたことは周知の事実であり、報道機関がこの点の影響を判断するため、かかる項目を調査内容に加えることはむしろ正当な行為だったと考えます。

吉岡さんいかがでしょうか？長くなりましたのでこれで失礼します。

Re 功罪

投稿日 1999年11月12日(金)00時20分

投稿者 吉岡 [kasm1DS15.iba.mesh.ad.jp]

遅くなりましたがS L Tさんのお返事読ませて頂きました。

私の書いたことに対してのS L Tさんの感想は、そうとは言いきれないというもので、良い点もあるというものでしたね。私の意見を要約して頂いた の良い点として上げて頂いた、少数意見をくみ上げる機能に付いては今回の西村発言に対しての報道を見れば一切機能していませんでした。

それに、日本の報道機関はもともと大衆迎合的な報道はしないと思います。それは決して良い意味ではなく、ただ単に自分達の主張通りに世論誘導を行っているだけの様に思えます。例をあげれば、日の丸君が代の世論調査結果は何年にもわたって、肯定的な意見が圧倒的に上回っていますが、法制化前の反日の丸・反君が代キャンペーンは常軌を逸したものがあったと思います。

要約 に付いては、私のような個人と報道機関を同列に考えるのは如何なものかと思えます。世の中に対する影響力が違い過ぎます。

報道機関が自己に有利な情報に力点を置くのも度が過ぎるのはやはり良くないと思います。特に自分達の主張に反する人や団体を記事や放送を使って貶めたりするのはもってのほかです。これも例をあげると、西村発言に対する朝日新聞の見出しであったのが、でかでかと「ついにやったか」ですよ。これを見れば朝日新聞が西村議員が政務次官になった時点で、狙いをつけていたのを告白しているようなものです。記者が嬉しくて小躍りしている様子が目に浮かびます。

> 西村氏の発言が、安全保障の基本的方針にかかわる問題であり、何より世論の多数意見が尊重されることが必要なこと。

この場合の世論とは、二度と戦争をやってはいけない。二度(三度)と核を落とされてはならない。と言う物だと思います。そうであるなら、西村議員の発言は、核の抑止力を持つ事により、それらを実現するという事を一つの案として議論してはどうか?という事を発言したただけであり、何ら世論に反する物ではないと思います。世論を実現する為には、核を持つのと、持たないのでは、どちらが有効か議論しましょうという事です。どこにあれほど袋叩きにあうような、誹謗中傷されるような間違いがあるのでしょうか。

> 一国会議員としての発言ならともかく、非核三原則の堅持を掲げる小淵政権内部者としての発言であり、このまま座視すれば、閣内不一致とも取られかねないような発言だったこと。

閣内が一致している事を第一に考えていて、発展性のある議論が期待できるでしょう

か。何の為に政府委員制度を廃止したのでしょうか。今回のバカ騒ぎにより新しく政務次官になった人達の発言というのは、腰の引けた、マスコミに媚を売ったものに終始することでしょう。マスコミの思う壺でしょう。

最後の小淵内閣の支持理由に「人柄」を入れることは正当だとおっしゃいますが、小淵首相個人の支持理由には、その様な項目があってもおかしくは無いと思いますが、「内閣」の支持理由に「人柄」はどう考えてもおかしいと思います。仮にあっても良いとしても、その結果を使って批判のにする様な情報操作はあってはならないと思います。(そういう記事や解説を良く見たもので。)

論点再構成

投稿日 1999年11月14日(日)04時56分

投稿者 SLT [ce550.farm.gol.net]

こんばんは。吉岡さんのご意見拝見しました。今回、今までの議論を整理しながらお答えするのでちょっと長くなるかも知れませんが、読んでみてください。

A. そもそも、マスコミは少数意見を反映させるべく努力しているか？

吉岡さんはこの点、少数意見の反映を図るべく努力しているのではなく、専ら自分たちの主張を押し通すべく、情報操作という手法でいわば「多数派工作(世論誘導)」しているに過ぎない。という主張だと理解しました。

しかし、公正な手段で(完璧ではないかもしれませんが)情報を収集し、そこから自分なりに論理を積み上げて主張を展開することによることは、本質的に悪いことでは無いというのが私の意見です。

それが、例え自己の有利な情報ばかり集めていたとしてもです。今の大衆は昔の知識人が皮肉ったような「愚民」ではありません。いいことづくめで書いた主張の裏に何かがあるくらいは、みんなわかっているのです。自ずから、説得力に差が出てくる。そういった差が、結局自分たちの首を締めてくることにもなる。私はそう思うのです。

つまり、自分たちの有利になる情報ばかり取り上げることが問題なのではなく、自分たちの不利になる情報や主張に対し、十分に検討しているか。そういった事を怠っていることが、問題だと思います。

また、彼らを取り上げた主張が結果として世論に受けが悪い、世論との乖離現象が起こったとしても、その損失は全て報道機関が負っているのです。認識に多少のずれはあれ、これだけいろいろな情報が氾濫している社会において、そのリスクを知らずに報道機関が主張していないとは思えないのです。そこに、私が前回投稿で言った積極的意義があると思うのです。

B. この問題で少数意見の反映はどの程度まで必要だったか？

最初、吉岡さんは西村発言を支持する意見(少数意見)を取り上げないことに対し、「最後に、今回の西村発言をヒステリックに批判した報道機関のほとんどは、普段は言論の自由や少数意見のくみ取りを声高に叫んでいるのではないのでしょうか？それが今回の件を見れば、所詮は自分達の主張に合った物だけを選んでいているという事は明白ですよね。」と述べました。

私は、この点について 西村発言は安全保障の根幹に関わる事だったこと 閣内不一

致とも取られる要職者の発言だった事の2点を理由に今回に限って言えば、少数意見（西村氏を支持する意見）を反映しなかった事もやむをえないと考えました。

これに対し、吉岡さんは 西村発言は、核武装を政策として打ち出すことではなく、議論する事を目的とした発言だったこと 閣内不一致を考えたらそもそも発展性のある議論を期待できなくなる。という意見だと理解しました。

しかし、問題はここではないと思うのです。議論する事による影響にあるのです。私が、前回から指摘したかった事もそこにあります。政権内部の要職者が、国家の安全保障政策の大転換を視野に入れた発言は国内にも海外にも大きな影響を及ぼす事になると思うのです。（私の前回投稿は、その国内の影響を指摘したものです）

果たして、これが発展性のある議論というメリットと引き換えに出来る事でしょうか？核武装という政策オプションは、いわば一億人の命をかけた大博打です。議論が始まれば、結論はどうであれ中も外も大騒ぎになっていたはず。「ただ、議論したかっただけです。」で果たして押しとおせるか？

押しとおしたとして、何人の人間が納得するでしょうか？それをまた、一国会議員なら、言論の自由の程度の話で進められるものを、政権内部者が就任早々、この国際情勢で、しかも使った言葉が「強姦」・・・。

以前、私は、平和と戦争の両極端の状態を視野に入れた政策が安全保障で、冷静さこそ第一、と書きました。この基準に照らして西村氏を評価するに、センセーションを起こす事を十二分に知りながらあえて「強姦」という挑発的言葉を用い、その影響、タイミングを全く無視した発言をしたもので、安全保障を語る政治家としては失格だと考えます。 よって、これを支持する少数意見より、反対する多数意見を反映する報道をした事は、その内外の影響、国民全体が受ける不利益を考えたらやむをえない事だと考えます。

C. 関連問題

- 小渕政権の支持率調査・西村氏への人格攻撃 - 吉岡さんは、マスコミの世論操作についての上記2点の主張の他に、関連して小渕政権の支持率調査を取り上げ、「人柄」といったような、人間がなんとなく丸をつけてしまうような項目を調査項目に加えるのは巧妙な世論調査にあたるとの主張されました。

それに対し、私は小渕首相は自己の人柄を政治的に利用しているから、かかる調査項目も正当だと主張したところ、小渕首相個人の支持率ならともかく、小渕政権全体の支持率調査としては、不適當だという考えだと理解しています。

さて、これもそう厳格に分けられるでしょうか？実際の国民一般の意識は、小渕首相 = 小渕政権でしょうし、政権全体の責任者はまさに小渕首相自身でしょう。また、小渕氏自身も、まさに自身の支持率向上が、結果としての政権支持率の上昇と連動して

いることを意識していないはずがありません。そういった政治的手法を批判の対象にする事を人格攻撃といえるでしょうか？

また、批判が人格にわたったとしても、総理大臣という要職にあるものの政治家としての資質を問ううえで必要な場合は、やはり批判される事もやむをえないというのが私の考えです。このことは、西村氏への人格批判と吉岡さんが指摘した点にも当てはまると思います。

確かに、朝日新聞や辻本議員の発言には、首をかしげるものもありますが、「強姦」などという言葉が軽率に用い、もっぱら、センセーショナルな議論を起こしたに過ぎない西村氏のやり方(政治的手法)を批判するに際し、同氏の人格の面に触れることがあったとしても、批判の上で必要ならば認められるというのが私の意見です。一概に人格批判の全てを不当だと決め付けることは出来ないと思います。

ただし、今回の報道各機関のやり方には確かに行き過ぎと思われるものも多かったと思います。その点で、吉岡さんの主張は正しかったとも思います。それが、どこまで逸脱していたかは、個別具体的な検討が必要でしょう。

最後になりましたが、吉岡さん頑張って読んでいただけたでしょうか。(笑) 論点の再構成をしながらの反論のため、長文にわたった事をおわびします。いろいろ書いていると話が飛びそうになるため、このような方法を取らせていただきました。

これで、次回からはもうちょっとうまくかけると思います。この苦勞に免じて、暖かい返事をお待ちしています。(自分でいうのもなんですが・・・) おおっ。6時じゃないか。

今日は「報道2001」を見ないで
とにかく寝るか・・・
おやすみなさい・・・

